

地域社会との共生

基本的な考え方

ムラタでは、地域社会との共生をマテリアリティのひとつに設定しており、Vision2030のありたい姿を目指して、創業者の理念のもと、地域の皆様とのコミュニケーションを大切に、地域課題の解決につながる貢献活動を推進しています。具体的には、5つの重点分野「次世代育成支援」「地域社会への支援」「環境保護」「文化支援」「学術支援」を設定し、「社会・地域貢献活動ガイドライン」に従って、グループ各社が主体的に地域の状況に応じて注力する分野を定め、社会・地域貢献活動を企画・実行しています。

地域の皆様をはじめとした幅広いステークホルダーの皆様との対話を通じ、持続可能な社会の実現・地域社会の発展という共通の目標に向け、継続的に社会・地域貢献活動に取り組みます。

社会・地域活動基本方針およびムラタグループの主な社会貢献活動一覧はこちらをご覧ください。

[WEB https://corporate.murata.com/ja-jp/csr/people/society](https://corporate.murata.com/ja-jp/csr/people/society)

ムラタグループの社会貢献活動
参加人数（2022年度）

1万4,050名
（グループ総従業員の約19%）

ムラタグループの社会・地域貢献活動
総支出額（2022年度）

1,056百万円

未来を支える人材の育成を支援

Murata Electronics North America, Inc. では、子どもたちに科学技術に関する教育やキャリアを追求するきっかけとなり、未来のイノベーターを育成するSTEAM教育の一環として、NPO 法人 Science from Scientists® 様と共同で「Major League Science」という取り組みを行いました。ボストンの象徴的な野球場に招待した子どもたちに対して、インタラクティブなデモンストレーションを行い、子どもたちは目と脳がどのように連動するかを学び、ムラタの技術がスポーツの未来にどのように貢献できるかを体験しました。



豊かな環境づくりと地域の安全に貢献

Philippine Manufacturing Co. of Murata, Inc. では、SDGsNo.11「住み続けられるまちづくりを」を支援するため、工場近郊の Pantay Bata - Cale Road で、2021年8月より累計110台のソーラー街灯を寄贈し、地域の安全に貢献しています。また、ソーラー発電を利用したものであるため、温室効果ガス削減にも貢献しています。



地域連携活動により学生の学びを支援

金沢村田製作所（石川県）では、金沢美術工芸大学とのコラボレーションで、学生考案の冬季イルミネーションを事業所内に設置し、近隣住民の方々向けに公開しました。イルミネーションの制作過程では、学生がトータルデザインやマテリアルの耐久性などの検討を行い、それらを資料にまとめ、プレゼンテーションを行いました。イベント終了後、大学側から「設置環境や費用などの制約がある中で、デザイン提案だけで終わらないリアルな経験ができた」と感謝のコメントをいただきました。



地域の多文化共生を支援

福井村田製作所（福井県）では、協力会社で製造に従事いただいている日系ブラジル人の子どもたちが多くいる小中学校への日本語指導の支援、コミュニケーション向上を目的に通訳者（アクセスワーカー）の派遣や通訳機器の寄付などを行っています。事業所の所在する自治体や協力会社の皆様と協力して、国籍や文化の違いを認め合える多文化共生の支援を進めていきます。

